

治療開始後、以下のような症状にご注意ください



重度の皮膚障害

重度の皮膚障害が起こることがあります。皮膚だけでなく、粘膜（口や目）などにも異常があらわれることがありますので、注意が必要です。

主な症状

- 高熱（38℃以上）
- 目の充血（目が赤い）
- めやに（目の分泌物）
- まぶたの腫れ
- 目が開けづらい
- くちびるや陰部のただれ
- 排尿 / 排便時の痛み
- のどの痛み
- 皮膚の広い範囲が赤くなる



高血糖

血糖値（血液中のブドウ糖の濃度）が高くなる（高血糖）ことがあります。

主な症状

- のどが渇く
- 多飲（お水をたくさん飲む）
- 多尿（トイレの回数が増える）
- 体重減少
- 疲れやすい

POINT 「過去に血糖値が高いと言われたことがある方」、「肥満の傾向がある方」などは高血糖になりやすいといわれていますので、注意しましょう。



手足の神経の障害

末梢神経が障害され、手や足に症状があらわれることがあります。

主な症状

- 手や足がピリピリとしびれる
- 手や足がジンジンと痛む
- 手や足の感覚がなくなる
- 手や足に力が入らない
- 物がつかみづらい

POINT 日常生活で、「ボタンがかけづらい」、「つまずきやすい」など、いつもと違うことがないか注意しましょう。





こつずいよくせい 骨髄抑制

血液細胞をつくっている^{こつずい}骨髄の働きが弱くなり、さまざまな症状があらわれることがあります。

主な症状

- 貧血の症状 → めまい、立ちくらみ、^{つめ}爪の色が白くなる、息切れ、ふらつき、頭痛
- 血球減少に伴う症状 → 熱がある、のどが痛い、さむけ、青あざができる、歯ぐきや鼻から出血する



かんせんしやう 感染症

抵抗力の低下などにより感染症にかかりやすくなります。感染した体の部位によってさまざまな症状があらわれることがあります。

主な症状

- ^{じやうきどうかんせん}上気道感染や^{はいえん}肺炎の症状 → せき、たん、息切れ、息苦しい、熱がある、さむけ、体がだるい
- ^{にやうろかんせん}尿路感染の症状 → トイレが近い、尿が残っている感じがする、尿の色や臭いの変化、排尿時の痛み



じんきのうしやうがい 腎機能障害

腎臓の働きが弱くなり、さまざまな症状があらわれることがあります。

主な症状

- 尿がほとんど出ない
- 一時的に尿の量が増える
- ^{ほっしん}発疹がみられる
- むくみやすい
- 体がだるい



かんしつせいはいしつかん 間質性肺疾患

肺のガス交換の場である^{はいほう}肺胞に^{えんしやう}炎症が起こることがあります。ここに炎症が起こると、酸素を取り込みにくくなり、さまざまな症状があらわれることがあります。

主な症状

- 息苦しい
- 息切れ
- ^{からせき}空咳（たんのないせき）が出る
- 熱がある



気になる症状がある場合はすぐに医師、看護師、薬剤師に相談してください。

緊急時の連絡先

医療機関名

診療科名

担当医師名

電話番号

診察券番号